

Arcserve r16 設定ガイド : Amazon S3 互換クラウドストレージとの連携

本書では Arcserve r16 でクラウドストレージと連携したデータ保護を行うための設定について解説しています。

本書にて対象とする Arcserve 製品、クラウドストレージは以下の通り。

<Arcserve 製品>

- Arcserve Backup r16
- Arcserve D2D r16

<クラウドストレージ>

- ニフティクラウドストレージ
- Cloudn Object Storage (クラウドエヌ)
- Cloudian (クラウドイアン)

それぞれの詳細については各 Web サイトを参照ください。

Arcserve Backup からのクラウドストレージへの接続方法

Arcserve Backup のクラウド接続は「バックアップマネージャ」、「アーカイブマネージャ」、「デバイスマネージャ」のいずれかの画面から行います。

クラウドデバイスの作成と、ステージング/アーカイブ デスティネーションとしての利用は 2 つの手順で実施します。

- I. 「クラウド接続の管理」からのクラウド接続の追加
- II. 次に「クラウドベースデバイスの管理」からのデバイス作成

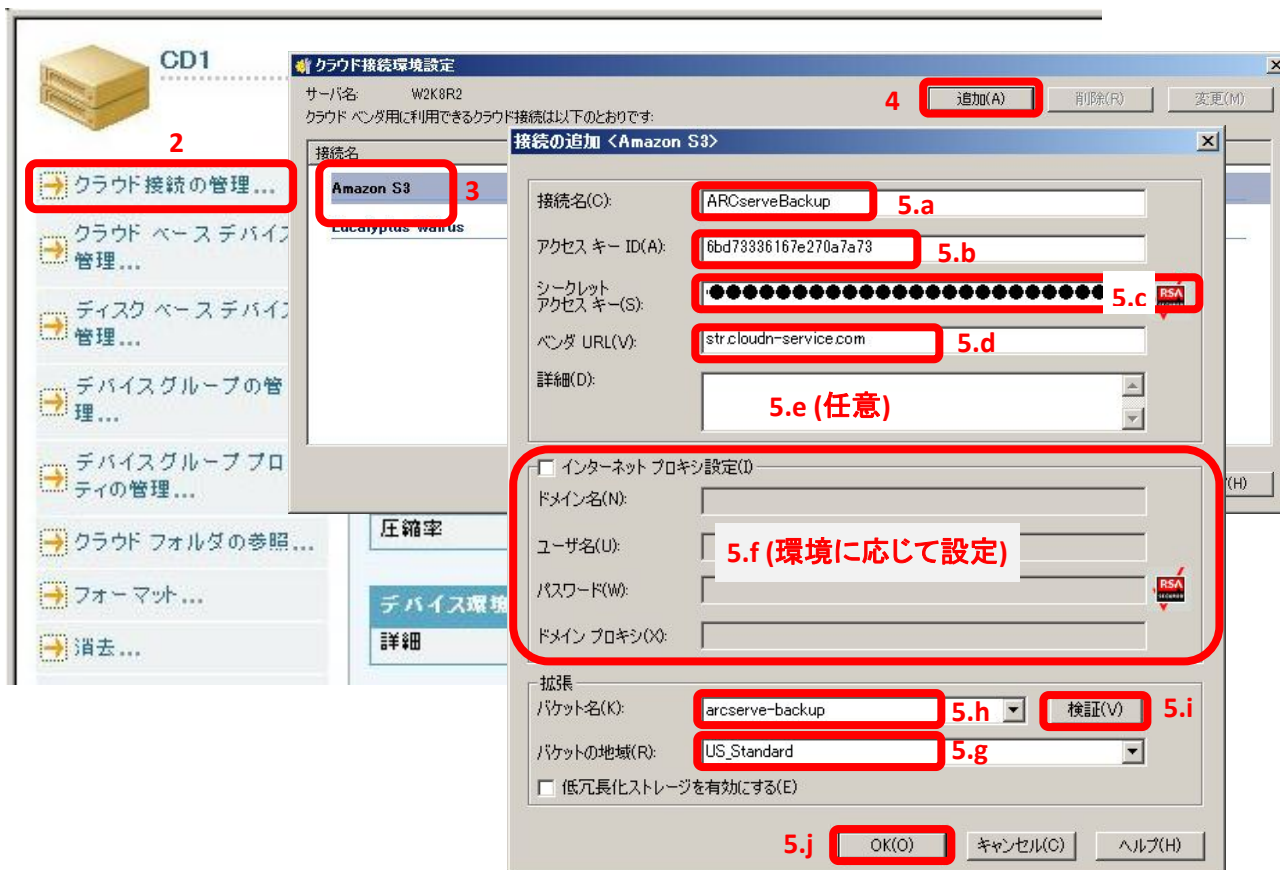
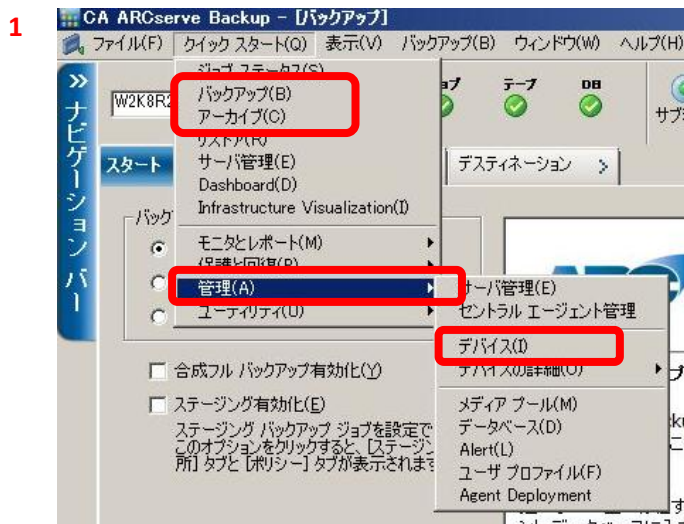
クラウド接続の追加:

1. 「バックアップマネージャ」、「アーカイブマネージャ」、「デバイスマネージャ」のいずれかに移動し、以下の流れで設定します。
2. 右下のペインにある「クラウド接続の管理」をクリックし、クラウド接続設定画面を表示します。
3. 「Amazon S3」を選択します。
4. 「追加」ボタンをクリックし、接続の追加画面を開きます。
5. 下記情報を設定します。
 - a. 接続名: 任意の名称を指定
 - b. アクセスキーID: アカウントに対し生成されるキーを指定します。
 - c. シークレットアクセスキー: アカウントに対し生成されるキーを指定します。
 - d. ベンダ URL: ベンダーから指定された URL
 - i. ニフティクラウドストレージでは**東日本(East-1)**に対応する為「**ncss.nifty.com**」を指定してください。
注) 東日本以外のリージョンへの接続は現在サポートしていません。
 - ii. Cloudn Object Storage では**日本 DC** リージョンに対応する為「**str.cloudn-service.com**」を指定してください。
 - e. 詳細: (任意) 必要に応じ任意の説明文を記入します。
 - f. プロキシ設定が必要な場合は「インターネットプロキシ設定」をチェックし、必要な情報を指定します。
 - g. バケット名: 新しいバケットを作成する場合、任意な名称を指定します。

既存バケットを使用する場合は、ドロップダウンリストに表示されたバケット一覧から選択します。

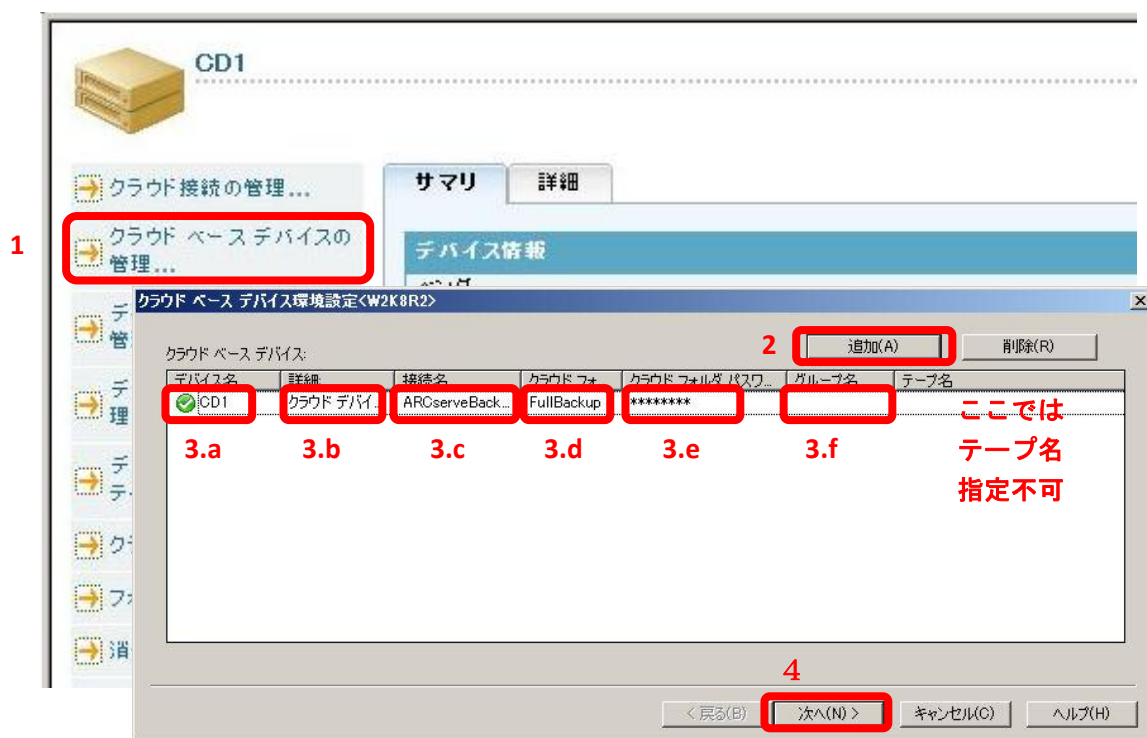
- h. バケットの地域:「US_Standard」(固定)を指定します。
注) 他地域の指定はサポートしていません。バケット作成が失敗します。
- i. 「検証」ボタンをクリックし、指定した名称の正当性確認を実施します。
- j. 「OK」をクリックし、接続設定を保存します。

※ Arcserve Backup からの接続設定はバケットごとにそれぞれ必要です。複数の接続設定を行う場合、上記手順 4 及び 5 を繰り返します。



クラウドデバイスの作成:

1. 「クラウドベースデバイスの管理」からクラウドベース環境設定画面を開きます。
 2. 「追加」をクリックし、詳細を設定します。
 3. 以下のそれぞれの情報を指定します。
 - a. デバイス名: (任意) デフォルトとして「CD*」が表示されますので必要に応じ変更します。
 - b. 詳細: (任意) デフォルトで「クラウド デバイス」と表示されます。
 - c. 接続名: (必須) 前述の「クラウド接続の追加」で作成した接続名から選択します。
 - d. クラウドフォルダ: (必須) 指定した「接続名」で使用するバケット内に作成されているフォルダ名を指定します。
既存フォルダを使用する場合は、表示されるバケット名から選択します。
 - e. クラウドフォルダパスワード: (任意) 無指定時はパスワードによるクラウドフォルダの保護は行われません。指定したパスワードは「*****」と表示されます。
 - f. グループ名: (任意) 無指定時は Arcserve Backup が任意なグループ名称を付与します。
- ※ 各接続のクラウドデバイス単位に複数クラウドフォルダを作成する場合は、上記手順の 2 及び 3 を繰り返します。
4. 「次へ」をクリックし、クラウドデバイスの作成を完了します。



Arcserve D2D からのクラウドストレージへの接続方法

Arcserve D2D のクラウド接続は「ファイルコピー設定」メニューから行います。

「設定」からファイルコピー設定画面を開き、クラウドにコピーする「ソース」ファイルを指定した後、下記手順に従いクラウドをデスティネーションとして指定します。

1. デスティネーション画面を開き、「クラウドへのファイルコピー」を指定した後に「設定」をクリックします。
2. クラウド環境設定画面上の「ベンダの種類」に「Amazon S3」を選択します。
3. あらかじめクラウドベンダから入手した下記情報を設定します。
 - a. ベンダ URL: ベンダから指定された URL
 - i. ニフティクラウドストレージでは東日本(East-1)に対応する為「ncss.nifty.com」を指定してください。
注) 東日本以外のリージョンへの接続は現在サポートしていません
 - ii. Cloudn Object Storage では日本 DC リージョンに対応する為「str.cloudn-service.com」を指定してください。
 - b. アクセスキーID: アカウントに対し生成されるキーを指定します。
 - c. シークレットアクセスキー: アカウントに対し生成されるキーを指定します。
4. バケット名: 新しいバケットを作成する場合、「追加」ボタンからユニークな名称を指定します。
既存バケットを使用する場合は、追加ボタン右の「更新」ボタンをクリックし、表示されたバケット一覧から選択します。
5. バケットの地域: 「US_Standard」(固定)を指定します。
注) 他地域の指定はサポートしていません。バケット作成が失敗します。
6. 「接続テスト」ボタンをクリックし、クラウドサービスへ正常に接続できることを確認します。
7. 「OK」をクリックし、接続設定を保存して完了です。

※ その他の項目も必要に応じて設定してください。

